

## ○外国人労働者 75 万人

民主党の中に、外国人労働者問題に対応する政策作業部会を作りました。当面、私が座長を務め、取りまとめと事態の改善を政府にせまります。特に外国人労働者が集中する豊田、浜松、群馬、埼玉や千葉の地域選出の議員や、外交を手がけている議員達が参加してくれました。

政府の17年度統計では、外国人登録者数は、毎年増え続ける傾向のなかで、全国で200万人。そのうち55万人が外国人労働者。さらに、20万人が不法残留者で、合計75万人とされています。これに密入国などで残留している人たちを加えると、もう少し大きな数になります。

日本の法律の建前では、単純労働を目的として日本に滞在する事は出来ません。それにもかかわらず、実際どうして沢山の外国人が様々な職場の中で働いているのか。それは、政府が、法律の都合のいい運用によって、実際には単純労働を認めている。ここに、各地で問題を起こしている根本原因があります。

ブラジル人を中心とする日系移民の家族3親等までは、3年の期間で日本に滞在することが認められています。これは、日系だからという理由ですから、日本で働く目的かどうかなどは、関係のない枠です。結果、不安定な労働条件や医療福祉制度からの脱落、言葉、子ども達の教育欠如などの問題が深刻です。最近では、3年更新を繰り返して永住に進む人たちが増えています。

一方、中国人を中心に研修や技術習得を名目とした入国許可があります。1年間は言葉を中心とした研修、2年以降3年まで現場で実技研修という名目は現実と大きく乖離していることが指摘されています。労働という名目から外れているために、最低賃金保障の対象にならない。派遣国のブローカーなどのピンハネで手取り月額5万円台がざらという報告が

なされています。

外国人問題を抱える全国18都市が外国人集住都市会議を開いています。四日市市が事務局をになって頑張っています。今回も、国、県、企業などに重要な提言をしました。

建前と本音の違う法律運用が社会にいかにか大きな問題をもたらすか。外国人労働者の受け入れ問題は、その代表的な例です。ヨーロッパやアメリカでも、外国人労働者問題は、最大の政治課題の一つになっています。正しい方向に、政策提言が打ち出せるよう頑張ります。

## ○一般政治課題でも国民投票を

憲法調査会で久しぶりに討論をしました。憲法の改正手続きの要、国民投票法が与野党案の最終調整に入っています。与党は18歳からの投票に応じつつあるようですが、もう一方で、憲法だけではなく、一般の政治的懸案についても、この際実施できるようにすべきだという民主党の案には、もう一步、乗ってきません。

臓器移植の時の人間の死の判定基準や、少子化で本当に外国人労働者や移民の枠を広げ、この国の体質まで変えるのかどうかなど、生命観や国家観などの基本事項は国民投票が必要だと思っています。タウンミーティングで公務員を動員して「やらせ」を演出し、国民の声を直接聴き取っているというウソを演出しなければならない自民党には、「国民投票」といわれると怖いのもかもしれません。

## ○予算要望の季節

予算関連の陳情で、地元から毎日沢山の皆さんが来ていただきます。来年に選挙を控えた年でもあって、知事さん、市町村長さんは、予算獲得には特に気合が入っています。税収も増えています。私も、一緒に気合を入れて頑張ります。